

2 特許の紹介について

中部電力の登録となった特許を用いた技術開発成果を紹介いたします。

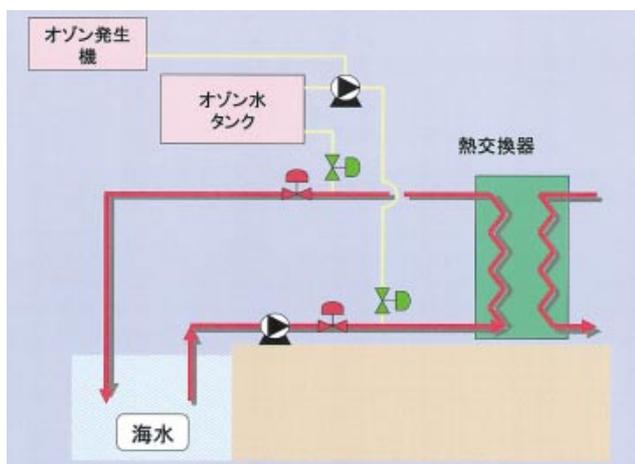
発明の名称

熱交換器のオゾン処理方法

登録番号

特許第3449631号

海水や河川水を冷却水として使用すると、熱交換器内部にスライムと呼ばれる生物起因の汚れが付着しま

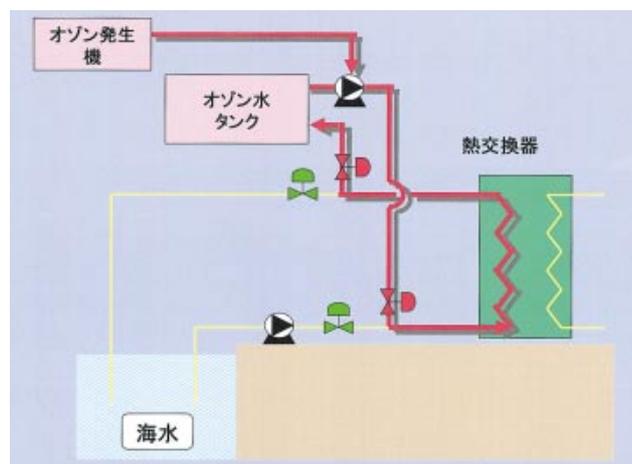


第1図 通常使用時の例

す。従来は塩素などによる防汚処理が行われてきましたが、環境保全の観点から、規制もしくは自粛されてきています。そのため、強い殺菌力を有しながらも、数十分で自然分解してしまうため残留性の心配がないオゾンを使用した防汚処理を考案しました。

発明の概要

定期的（2回 / 週程度）に熱交換器にオゾン水を通水して熱交換器に付着したスライムを除去します。通水前にオゾン水をタンクに生成し、約30分～1時間、対象となる熱交換器に循環させます。



第2図 防汚処理時の例



執筆者 / 片桐敏雄
Katagiri.Toshio@chuden.co.jp

内外ニュース

技術開発状況をアナリストへ説明

技術開発本部では、去る2月10日セルサイドアナリスト、主要機関投資家向けに「研究開発の取り組みについて」を紹介しました。これは当社東京支社（千代田区プレスセンタービル5F）において、第3四半期決算概要の説明会の後行われたもので、約50名とたくさんの方にお集まりいただきました。内容としては、超電導技術などを応用した瞬時電圧低下



プレゼンテーションの様子

補償装置、来年の愛・地球博に出展する燃料電池開発、石油業界の関心の高い超重質油の改質技術、さらには空調熱供給機器開発の状況について紹介し、するどいご質問をお受けすることとなりました。開発技術の現状をご理解いただく貴重な機会であったと考えています。

開発技術の紹介



電気二重層キャパシタ適用機器



超電導電力貯蔵装置 (SMES)

瞬時電圧低下補償装置



高温形燃料電池 (MCFC)



超重質油の改質技術



ビル用マルチエアコン「スーパーモジュールマルチ」
高性能空調機器の開発